

第 62 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム報告

(2025 年 10 月 23 日－26 日 日本・札幌)

一般社団法人日本ライオンズ

2025 年 10 月 31 日

1. フォーラム登録数 [10 月 25 日 17 時時点]

Dist.204	(グアム、北マリワナ諸島など)	27
MD300	(台湾)	850
MD301	(フィリピン)	254
Dist.303	(中国・香港、マカオ)	134
MD308・309	(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)	144
MD310	(タイ)	102
MD330-337	(日本) * MD 別内訳不明	6940
MD354-356	(韓国)	1471
MD380-383	(中国・深圳、広東、大連、青島、北京、浙江、瀋陽、陝西)	354
MD385-389		
	(モンゴル)	16
その他	(米国、パキスタン、バングラディシュ、インド、ブルネイ、スイス、エクアドル、オーストラリア、コンゴ、スリランカ、ネパール、キプロス、レバノン・LCI ほか)	70
		10471

(名)

2. フォーラム決議

10/26 第 3 回議長と DG の会議で発表された決議案です。正式な決議については後日フォーラム委員会より発表予定です。

第 62 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム決議

(2025 年 10 月 23 日－26 日 日本 札幌)

・感謝決議 (プロトコル別に参加に対するお礼、省略)

・事務的決議 (第 3 回議長とガバナーの会議で発表)

1. 日本の松岡勲元協議会議長(335-C 地区・京都南ライオンズクラブ所属)を 2026-28 年度国際理事候補者として承認

2. 中国の林子钰 (Lin ZiYu) 元地区ガバナー (380 地区・深圳ライオンズクラブ所属) を 2026-28 年度国際理事候補者として承認
4. スイスの Carl Robert Rettby 元国際理事を国際第3副会長候補者として承認
5. 第 63 回 OSEAL フォーラム (2027 年 マレーシア・ペナン) FOC 委員長 Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長とフォーラム組織委員会へ感謝し、協力することを承認

◎各種会議等報告

10 月 23 日 (木)

20:30-21:30 コーカスミーティング (非公式会議)

ジョンユル・チョイ元国際会長、山田實紘元国際会長、ウィンクン・タム元国際会長が登壇され、会場には A.P.シン国際会長、ファブリシオ前国際会長、マーク S・ライオン国際第1副会長がお越しになりました。

タム元国際会長が会議を進行され、まずは OSEAL 会則地域からの 2026-28 年度*の国際役員候補者のエンドースメントが行われました。*国際会則第5条4項により3名

日本の松岡勲元協議会議長、中国の林子钰 (Lin ZiYu) 元地区ガバナーの2名がエンドースされました。国際理事候補者の残り1名については、韓国より輩出する予定であると発表があり、チョイ元国際会長より候補者の選定について補足説明がありました。

続いて、2026-27 国際第3副会長候補者として、スイスの Carl Robert Rettby 元国際理事をオセアル会則地域としてエンドースすることが決定された後、国際第3副会長候補者が5分、国際理事候補者は3分の挨拶を行いました。

最後に、OEC からの報告として 2027 年から今後4年間の国際理事候補者を輩出する国の割り当てについてタム元国際会長より説明がありました。

担当: 田崎

10 月 24 日 (金)

8:00-9:00 第1回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長8名・地区ガバナー35名全員が参加しました。

まずは FOC 委員長である鶴嶋浩二 LCIF 理事から歓迎の挨拶と開会宣言が行われ、A.P.シン国際会長をはじめとする国際役員の紹介と挨拶が行われました。LCIF 理事の紹介と挨拶については時間の都合により明日となりました。

フォーラムプログラム内容とフォーラムテーマが説明され、テーマである「共生と循環-未来の子供たちのために-」に併せ、MD331 では 12,000 本の植樹を行ったという報告がありました。

続いて、午後からの開会式の予定と、明日開催されるセミナーのスケジュール開催の予定が説明され、参加の呼びかけと、今回のフォーラムでは登録証のQRコードで参加者の管理を行うことの説明がありました。

タム元国際会長より、昨夜行われたコーカス会議の報告として、エンドースされた次期国際役員の候補者が紹介され、各候補者は一言挨拶を行いました。

議案について、事前に上程された議案が無かったことが鶴嶋 FOC 委員長より報告されました。

担当:田崎

9:30-11:00 国際会長と地区ガバナーの会議

日本からは、ほぼすべての地区ガバナーが参加しました。

A.P.シン国際会長より、地区ガバナーをバスドライバーに例え、どこに向かうのかは地区ガバナーに責任があり、2025-26 年度のドライバーであるとお話がありました。

また、ミッション 1.5 については、組織をより強力なものにするために必要なものであり、会員増強には地区ガバナーの呼びかけがスタートであることを話されました。

若いメンバーを増やし新しいアイディアや活力を得ることの重要性や、異なるクラブと一緒に活動することでアイディアを共有し、お互いに学ぶ機会になると話されました。また、A.P.シン国際会長より、前回日本を訪れた際の地区ガバナー(当時の第 1 副地区ガバナー)の働きに対し、感謝が述べられました。

Q&A では、335-C 地区ガバナーの L 田端俊三より、リーダーシップの大切さと、クラブが基本であるという考えについての発言があり、A.P.シン国際会長も賛同されるとともに、クラブにおけるリーダーシップについてお話ししました。

また、335-B 地区ガバナーの L 笹部美千代より、地区ガバナーとクラブ会長の集まりを企画しているため、A.P.シン国際会長から正会員 20 名以下のクラブへメッセージが欲しいとの要望があり、快諾され、メールを送ってほしいとご案内されました。

担当:松本

13:00-15:30 開会式

大和ハウスプレミストーム(札幌ドーム)で開催されました。

入場の際、進行上の都合により間が空きましたが、鶴嶋 FOC 委員長の開会宣言とゴングの後、札幌のインスタレーションが行われ、鶴嶋 FOC 委員長の歓迎挨拶の後、ホスト団代表として山田 實紘元国際会長が挨拶を行いました。

鈴木直道北海道知事の代理として加納孝之副知事、秋元克広札幌市長がゲストとして登壇された後、A.P.シン国際会長がご挨拶され、ミッション 1.5 について日本をはじめ中国・韓国などアジア各国の言葉を引用しつつお話しされました。最後にミッション 1.5 を通じて共に強くなろう、成功には参加者一人一人のリーダーシップが必要である、フォーラムを成長の機会にしてほしいと呼びかけられました。

続いてミッション 1.5 関係の表彰が行われ、日本からは 334-D、336-C の地区ガバナーと GMT・GET コーディネーターが表彰されました。

担当:田崎

10 月 25 日(土)

8:00-9:00 第2回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長 8 名・地区ガバナー 35 名全員が参加しました

鶴嶋 FOC 委員長より開会式のお礼と、入場者数が 8,000 名を超えたという報告があり、その後、LCIF 理事のご挨拶がありました。

現時点での登録数の確認後、第 63 回 OSEAL フォーラム(マレーシア・ペナン)委員長である、Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長より進捗報告が行われ、すでに WEB 上で登録受付を開始しており日本語での案内も掲載されている旨、説明がありました。

続いて MD335 津田勝之議長より、大阪で11月7日から9日にかけて開催される第 6 回レオフォ

ーラムの進捗報告と登録へのお礼、参加の呼びかけがあり、335 -B 笹部 美千代地区ガバナーより、海外のレオ 100 名を含む 400 名の登録をいただいているという補足報告がありました。

FOC からの決議事項が無いことが報告された後、自由討論の時間となり、昨日の開会式で中国・台湾からの参加者の間でトラブルが発生したことについて言及があり、両国の参加者がそれぞれの立場を主張しましたが、山田元国際会長が、「ライオンズは平和を旨としており、政治に関与すべきでなく、OSEAL も同様でありフォーラムは世界平和のための集会であること、ライオンズの力は政治的なものではなく LCIF への貢献といかに奉仕を行ったかが重要であり、暴力はライオンズとしてあるまじき行為である」と、ご発言されました。

田名部国際理事より、「OSEAL フォーラムのプログラムは学ぶことと成果を出すことに重点を置いて作成されており、フォーラムを通じて成功事例や奉仕の精神を共有するべきであり、皆さんのミッション 1.5 の成功例を話してほしい」、と呼びかけがあり、呼びかけに応じた参加者よりミッション 1.5 や LCIF の成功事例報告がありました。

最後に、本日のスケジュール確認とセミナー参加への呼びかけ、公益財団法人日本ライオンズの事業であるフットサルエキシビジョンマッチ、ペットボトルキャップアートでワクチンの寄附とギネスへの挑戦を行っていることが紹介され、参加が呼びかけられました。

担当:田崎

9:30-10:30 第1副国際会長と第1副地区ガバナーの会議

濱島グループリーダーの下、日本より 34 名の第 1 副地区ガバナーが参加しました。

マーク S・ライオン国際第 1 副会長とジャスティン元国際理事が進行され、国際第 1 副会長より、インフォーマルに会議を進めていきたいとご発言がありました。

一番大切なことは「We Serve」であるとした上で、ミッション 1.5 への取り組みの重要性、特に女性や若い会員を増やしていくこと、気候変動や災害、食糧危機など LCIF を通じて世界が必要とする支援を行うこと、よりアクティブな奉仕や多様性の尊重などについてお話しされ、大変なこともありますが笑顔で、と呼びかけをされました。

2 月に行われる WEB セミナーや、7 月に開催される香港でのセミナーについての現時点での予定の説明も行われ、出席が前提であることと、楽しいセミナーにしますとお話しされました。

担当:田崎

9:30-10:30 国際会長とクラブ会長の会議

A.P.シン国際会長とサンギータ・ジャティア元国際理事が登壇し、講師を務められました。

若年会員や女性会員など、新しい会員の声に耳を傾けることの大切さや、子供たちがミーティングに参加する機会を作ることが家族全員でのサーブにつながり、会員増強にも繋がることなどをお話されました。

ライオンズメンバーが退会するのはクラブに原因があり、子供も含めたすべてのメンバーが快適に過ごし、楽しんでもらえる環境を作ることがクラブ会長の役割であるとお話されました。

担当:松本

10:00-11:00 ゴーン・チェアパーソンセミナー

ゴーン・チェアパーソンセミナーは午前 10 時から 11 時まで 札幌コンベンションセンター の Room201・202 で行われ、GAT エリアリーダの川島正行元国際理事(MD333)と識名安信元協議会

議長(MD337)、ライオンズ公認講師(LCIP)の渡辺博元地区ガバナー(333-E 地区)と加藤万寿夫地区 GLT エリアコーディネーター(334-B地区)の4名が講師として行われました。開始前から立ち見が出るほどの盛況ぶりで、セミナーでは急遽、追加席を用意して対応しました。前半はゾーン・チェアパーソンの役割や、成功するための秘訣などが共有され、国際協会のホームページ内の会員リソースセンターや地区及びクラブ健康診断レポートを活用するなど、参加者は多くの役に立つ情報を学びました。後半はグループディスカッション形式で行われ、グループ毎に今後の展望や改善点などを発表しました。セミナーの途中には、仁科良三国際理事と濱野雅司元国際理事が視察に来られ、熱い議論が交わされるグループディスカッションの様子に熱心に耳を傾けていました。

担当:吉田

11:00-12:00 マーケティングセミナー

ライオンズクラブ国際協会理事会アポイントィで、MD308 協議会議長の L Potter Ka Kai Fong (マレーシア)が登壇し、講師を務められました。ライオンズを知ってもらうきっかけとなる SNS やソーシャルメディアの効果的な使い方を、クイズを交えてお話されました。セミナーの最後には、来年ペナンで開催される第 63 回 OSEAL フォーラム Facebook ページの紹介があり、その場で友達登録を行った参加者には、オリジナルピンが配布されました。

担当:松本

17:30-19:30 各国レセプション

日本の松岡勲元協議会議長、中国の林子钰(Lin ZiYu)元地区ガバナーの2名の国際理事候補者のレセプションが行われました。

担当:田崎

19:30-21:30 国際会長晩餐会

京王プラザホテル札幌にて開催されました。

食事の他、ステージパフォーマンスや写真撮影、表彰が行われました。

担当:田崎

10月26日(日)

8:00-9:00 第3回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長全員と、多くの地区ガバナーが参加しました。

A.P.シン国際会長をはじめ、国際役員より挨拶が行われ、国別の登録者数が発表された後、前日の決議委員会で委員長を務めた MD331 諏訪昇三元協議会議長より、決議委員会報告が行われました。

鶴嶋FOC委員長が定数を確認した後(51名)、諏訪元協議会議長より出された動議にセコンドがつき、挙手による投票の結果、賛成多数で決議が成立しました、

正式な決議文については、後日フォーラム委員会より送られる予定です。

その後の連絡事項では、MD336 山崎議長より学生会員の会費値下げについての質問があり、他国の参加者からは閉会式の時間について検討してほしいと発言がありました。

最後に山田實純元国際会長より、今回の成功をきっかけとし、数年後に札幌へ国際大会を誘致したい、ぜひ OSEAL 一丸となり応援してほしい、と呼び掛けがありました。

担当:田崎

10:30-12:00 閉会式

本部ホテル・京王プラザホテル札幌2F エミネンスホールにて開催されました。

鶴嶋FOC委員長の挨拶の後、登録数が計 10,471 名である報告が行われ、政治的な対立を超えて平和を祈念するメッセージが伝えられました。

続いて Carl Robert Rettby 国際第 3 副会長候補者候補者、松岡勲国際理事候補者、林子钰 (Lin ZiYu) 国際理事候補者の挨拶の後、決議委員会からの報告と、鶴嶋FOC委員長からセミナー報告がありました。

その後、A.P.シン国際会長より 10/23 ゴルフ優勝者への表彰と、札幌コンベンションセンターで行われていたペットボトルアートが無事にギネス記録を達成した報告が行われ、OEC 委員長であるタム元国際会長に代わり、チョイ元国際会長が挨拶をされました。

マーク S・ライオン第一国際副会長、A.P.シン国際会長からの挨拶の後、フレンドシップバナーが各複合地区・地区・単一地区ごとに贈呈され、第 63 回フォーラム開催地であるマレーシア・ペナンの紹介の後、鶴嶋FOC委員長よりフォーラム旗が次年度 FOC 委員長である Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長へ手渡され、第 62 回札幌でのフォーラムは幕を閉じました。

担当:田崎

以上